

区分	専門分野	単位	1単位
科目名	成人臨床看護Ⅰ	時間数	30時間
講師名	非常勤講師、(専任教員)	履修学年	2年次
概要	周術期にある成人期の対象の特徴を理解し、危機的状況や手術侵襲からの回復過程のために必要な看護を学ぶ。		
学習目標	1.周術期にある成人期の対象の特徴が理解できる。 2.周術期看護の特徴が理解できる。		
<b>授業内容</b>			
回数	学習内容	授業形態	
1	周術期看護の概要① 1.手術を受ける患者の状況(生体反応と回復過程) 2.チーム医療と看護師の役割 3.家族へのケア 4.術前の看護 1) インフォームドコンセント 2) 術前オリエンテーション 3) 術前処置 4) 手術室入室までの援助(不安の緩和、手術室への申し送り)	講義	
2	周術期看護の概要② 1.手術後の看護 1) 手術侵襲・生体反応とその看護 2) 術後合併症予防とその看護 3) 術後の回復を促進するための看護	講義	
3・4・5	1.手術における看護 1) 手術室の構造・設備・備品 2) 手術室看護師の役割 3) 術前オリエンテーション、入室時の看護 4) 麻酔導入時の看護 4) 手術体位と看護 5) 術中の管理(観察と看護) 6) 麻酔覚醒時の看護 7) 退出時の看護 2.麻酔と看護 1) 麻酔の種類 2) 麻酔が及ぼす影響 3) 小児・高齢者の麻酔に伴う問題と看護	講義	

6	胃がんの手術を受ける対象の看護	講義
7	消化器系の手術を受けた対象のドレーン管理	講義
8	胃切除術を受けた対象への食事指導	講義/演習
9	大腸がんの手術を受ける患者の看護	講義/演習
10	術後の看護(消化器外科) 1) 創傷治癒過程 2) 創傷管理	講義
11	ドレーン挿入患者の皮膚障害予防、ストーマ管理	講義
12~14	ドレーンの固定方法、皮膚障害予防、ストーマ管理	演習
15	入院患者の皮膚障害予防	講義/試験

新体系看護学文書 経過別成人看護学② 周術期看護 メヂカルフレンド社

新体系看護学全書 別巻 臨床外科看護学Ⅰ メヂカルフレンド社

新体系看護学全書 別巻 臨床外科看護学Ⅱ メヂカルフレンド社

新体系看護学全書 成人看護学⑤ 消化器 メヂカルフレンド社

基礎看護学④ 臨床看護総論 医学書院

基礎看護学③ 基礎看護技術Ⅱ 医学書院 (WOC使用)

### 成績評価の方法

筆記試験100%(手術室看護20%、消化器外科看護40%、皮膚・排泄40%)

### 備考

12~14回目の演習は各クラス

状況により講義順番の変更あり